



天文楽へのいざない

星空を見つめよう

天文学というと、物理学や数学の難しい世界の学問と思われがちですが、決してそんなことはありません。天文学の基本は楽しく星空を眺めること。

そこで、星空や宇宙の神秘を、生活に密着したもっと身近な角度から、「天文楽」としてとらえてみたいと思います。

★ 平成30年4月～9月 カリキュラム ★

★4月 星と宇宙 ～ 星空の基礎

古代人は星空を眺めながら、どんな宇宙を想像したのか？古代人は、太陽や月や星の動きを眺めながら、暦を作り、星空に星座を描いた。古代人が創造した星空の基礎をひもとく。

★5月 初夏の星座 ～ 北斗七星から二つの麦星

日本人に最も親しまれている星の並び「北斗七星」。北斗七星にまつわるエピソードや世界に伝わる神話を紹介。そして北斗七星から見つけられる二つの麦星について探る。

★6月 あこがれの南十字星 ～ 南天の星座たち

星が好きになると一度は見たくなる「南十字星」。1679年フランスのロワイエが、あまりの美しさにケンタウル座の一部を切り取って新たに作った星座。この美しいみなみ十字座など南天のエキゾチックな星座を探訪。

★7月 火星大接近 ～ 火星の謎に迫る～

今年7月31日、火星が15年に一度の超大接近をする。火星とはどんな惑星か、地球と火星を比較しながら、火星生命存在の可能性を探る。

★8月 小惑星の謎に迫る ～ はやぶさ2、リュウグウに到着

2014年12月3日に打ち上げられた小惑星探査機はやぶさ2が、目的地の小惑星リュウグウに到着。はやぶさ2のミッションと小惑星の謎に迫る。

★9月 旧暦とは ～ 日本古来の暦をひもとく

現代に生きる私たちは「太陽暦」というカレンダーを使っているが、明治5年までは「旧暦」が使われていた。旧暦とはどんなカレンダーだったのか？旧暦のすばらしさに迫る。



【受講日】 第2火曜日18:30～20:00

【講師】 日本天文学会所属天文研究家 浅田英夫

【受講料】 6ヵ月分 12,000円+税

詳細は右記フリーダイヤルまでお問い合わせください。

※内容・日程は変更になる場合がございます。ご了承ください。

※講座により募集締切日が異なりますので、お問い合わせください。

※お申し込みの人数によっては、開講中止となる場合もございます。予めご了承ください。

中日文化センターへ初めてご入会される方は、別途入会金(3,500円+税)が必要です。

一宮 中日文化センター
Culture & Communication 中日新聞

フリーダイヤル

0120-138-253

10:00～19:00 土曜日は18:30、日曜日は16:00まで
〒491-8585 一宮市新生1-1-1名鉄百貨店一宮店6階・プラザ138